自動車整備・スポーツメカニクス科　2023年　授業計画

時 期	３年Ａ巡	単元	実習	教科名	研究授業１		
科 目	研究授業	教科書等 持参品				発行日	2023.4.1
総時限	40時限					教科担当	草葉
必要時限	40時限						

指導教員の実務経験　**該当**（○）　**非該当**

自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員により、指導およびサポートを行なう。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、研究発表を目的に製作物を作成する。
②本校にて学び得た知識、整備技術を実際の自動車の整備にて試し、自信を得る。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、自己所有車両またはご家族の車両の
　メンテナンス、改造を行う。
②本校にて学び得た知識、整備技術を研究発表という形に表し示す。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

①担当教員によりその出来栄え評価を行なう。
②メンテナンス、改造を実施した場合、車両の整備検査を担当教員が実施し、保安基準適合で合格とする。

準備学習

自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。

自動車整備・スポーツメカニクス科　　　2023年　授業計画

時 期	３年Ａ巡	単元	実習	教科名	研究授業１

授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容
1 −40	自車両（家族車両含む）、実習車両、校用車両のメンテナンスの実施 ※但し、自車両のメンテナンスは許可制とし最大２５時限とする ①定期点検、消耗品の交換、一般整備の実施 ②走行性能（安定性）向上のためのセッティングの実施 ③オーディオの取付、チューニング等の実施 ④ケミカル商品施工の実施 ⑤実習車両のメンテナンスの実施 ⑥校用車両のメンテナンスの実施 ⑦その他、教科担当が認めるもの
	※遵守事項
	自車両及び家族車両を持ち込む場合の遵守事項
	①担当教員の許可を得るものとする
	②特別実習勉強会計画書の提出（実施内容）
	③車両臨時乗り入れ許可申請書の提出
	④不正改造及び分解整備行為の禁止

教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
工具	一式
特殊工具	一式
エアー工具	一式
ケミカル工具	一式
金属加工機器	一式
各種測定機器	
他	

自動車整備・スポーツメカニクス科　　2023年　　授業計画

時 期	３年Ｂ巡	単元	実習	教科名	研究授業２

科 目	研究授業	教科書等 持参品		発行日	2023.4.1
総時限	34時限			教科担当	草葉
必要時限	34時限				

指導教員の実務経験　　該当（○）　非該当

自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員により、指導およびサポートを行なう。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、研究発表を目的に製作物を作成する。
②本校にて学び得た知識、整備技術を実際の自動車の整備にて試し、自信を得る。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、自己所有車両またはご家族の車両のメンテナンス、改造を行う。
②本校にて学び得た知識、整備技術を研究発表という形に表し示す。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

製作物の目標出来栄え値により履修評価とする。
①発表の場を設け、製作物をプレゼンテーションさせ、発表内容を評価する。　２０％
②自分の計画した製作物の出来栄えに関して目的、目標にどれだけ達したかを評価する。
目的点　４０％
目標点　４０％

準備学習

自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。

自動車整備・スポーツメカニクス科　　2023年　授業計画

時 期	３年Ｂ巡	単元	実習	教科名	研究授業２

授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容
1-24	研究課題の計画 ①研究課題の企画、計画書の作成 ②研究課題の認定 ※条件 ①自動車をテーマとしたものとすること ②自動車業界、地域、学校、後輩に役立つものであること ③計画書には、目的、目標、工程が明記されていること ④計画書は、完成図が予想される可視化できるものであること ⑤計画書は、担当教員の認可受け、プレゼンテーションできること 担当教員は、企画段階からプレゼンテーションに至るまで サポートする
25-28	プレゼンテーション（発表会）
29-34	計画書の見直し、提出

教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
工具	一式
特殊工具	一式
エアー工具	一式
ケミカル工具	一式
金属加工機器	一式
各種測定機器	
ＰＣ	
レポート用紙	
他	

自動車整備・スポーツメカニクス科　2023年　授業計画

時 期	３年Ｃ巡	単元	実習	教科名	研究授業３
科 目	研究授業	教科書等 持参品		発行日	2023.4.1
総時限	80時限			教科担当	草葉
必要時限	80時限				

指導教員の実務経験　該当（選択）　非該当

自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員により、指導およびサポートを行なう。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、研究発表を目的に製作物を作成する。
②本校にて学び得た知識、整備技術を実際の自動車の整備にて試し、自信を得る。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、自己所有車両またはご家族の車両の
メンテナンス、改造を行う。
②本校にて学び得た知識、整備技術を研究発表という形に表し示す。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

製作物の目標出来栄え値により履修評価とする。
①発表の場を設け、製作物をプレゼンテーションさせ、発表内容を評価する。　２０％
②自分の計画した製作物の出来栄えに関して目的、目標にどれだけ達したかを評価する。
目的点　４０％
目標点　４０％

準備学習

自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。

自動車整備・スポーツメカニクス科　　2023年　授業計画

時 期	３年Ｃ巡	単元	実習	教科名	研究授業３

授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容
1-80	計画書の工程に基づき、製作物を作成する ①計画書に基づき工程管理ができているか確認する ②企画に会うように常にサポートする ③規格変更等に対応できるようアドバイスする ※企画に変更があった場合、計画書変更点を 再提出させ担当教員の認可を得ること

教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
工具	一式
特殊工具	一式
エアー工具	一式
ケミカル工具	一式
金属加工機器	一式
各種測定機器	
ＰＣ	
レポート用紙	
他	

自動車整備・スポーツメカニクス科　2023年　授業計画

時 期	３年Ｄ巡	単元	実習	教科名	研究授業４		
科 目	研究授業	教科書等持参品				発行日	2023.4.2
総時限	80時限					教科担当	草葉
必要時限	80時限						

指導教員の実務経験　該当　非該当

自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員により、指導およびサポートを行なう。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、研究発表を目的に製作物を作成する。

②本校にて学び得た知識、整備技術を実際の自動車の整備にて試し、自信を得る。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

①現在に至る自動車についての知識、整備技術を活かして、自己所有車両またはご家族の車両のメンテナンス、改造を行う。

②本校にて学び得た知識、整備技術を研究発表という形に表し示す。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

製作物の目標出来栄え値により履修評価とする。

①発表の場を設け、製作物をプレゼンテーションさせ、発表内容を評価する。　２０％

②自分の計画した製作物の出来栄えに関して目的、目標にどれだけ達したかを評価する。

目的点　４０％

目標点　４０％

準備学習

自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。

自動車整備・スポーツメカニクス科　　2023年　授業計画

時 期	３年Ｄ巡	単元	実習	教科名	研究授業４

授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容
1-48	計画書の工程に基づき、製作物を作成する ①計画書に基づき工程管理ができているか確認する ②企画に会うように常にサポートする ③規格変更等に対応できるようアドバイスする ※企画に変更があった場合、計画書変更点を 再提出させ担当教員の認可を得ること 計画書に基づき、製作物を完成させる ①製作物の修正、微調整を行う ②作成物の提出
49-73	プレゼンテーション（発表会）用の論文作成 /企画書に基づき ①担当教員はサポート、アドバイスを行う ②プレゼンテーション用論文には、目標、目的の自己達成度が あること ③製作物の活用方法が記載されていること ④研究課題に対して、今後の考察、効果が明記されていること
74-78	発表
79-80	研究授業　振り返り

教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
工具	一式
特殊工具	一式
エアー工具	一式
ケミカル工具	一式
金属加工機器	一式
各種測定機器	
ＰＣ	
レポート用紙	
他	